

# さやまの伝本



### 広瀬のキシモジンさま

広瀬信立寺のお堂にある、キシモジンさまは出産、子育ての守護神として人々から絶大な信頼を受けています。

昔、キシモジン(鬼子母神)さまは、幼児を捕らえて食べる、それは恐ろしい鬼女(きじょう)でした。ところが、自分の子どもが奪われたことから一気に心を改め、その後は子ども達を守る

善神となつたといわれています。

土地の人



たちは、子どもが生まれるとすぐお堂に連れて行き、どうか、この子をキシモジンさまのお弟子にして

ください」と言つて、虫封じなどをお願いします。そして、キシモジンさまの恐ろしいお姿を描いたお札をいただいて来まして、

子どもの寝る部屋の天井に張つておきますと、カンの虫「や、夜泣き」が不思議と治まるそうです。

また、キシモジンさまの縁日は3月18日で、子どもが少し大きくなつたとき、なぜか子どものわらじを納める習わしがあるそうです。子どもが立

てないなどで困っているとき、以前に納められていた古いわらじを借りてその子に履かせると、早く丈夫に歩けるようになるといわれています。その折、新しいわらじを置いてくるのだそうです。

## 短歌

市民の作品展

水野公民館で活動しているサークル「短歌の会」も会の作品を掲載します。

一日ありて一日の思ひ老い母の  
臥して十年の時の過ぎつつ

帖佐 敬子

老い二人交はず言葉も僅かにて  
この暖冬をことなくをりぬ

渡沢 文英

寒き風に花芽ののびて水仙の  
下向く花の影の小さし

岡本三枝子

仰ぎ見る常念の頂間近にぞ  
心ははやる吾ら二人は

吉田 行利

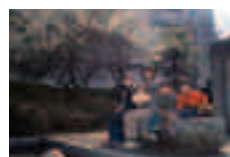
笑顔口々に消えし若き介護士の  
すでに辞めしかこの年の瀬に

澤田 豊子

庭に向く障子をよぎる鳥影の  
繁き一日あたたかくなりて

菊池智恵子

## 編集後記



雨水を過ぎた2月21日、市議会が始まり市は平成19年度の予算案など32議案を上げました。写真は、開

会翌日の市役所北口公園で3月下旬の温かさの中、元気に飛び回る小さな子に、思わず笑みを送りパチリ。地球温暖化の影響か、立春から咲き始めた紅白の梅は、ほぼ満開でした。3月上旬、狭山シニア・コミュニケーション・カレッジのレクリエーション学科でカレッジ唯一の検定試験が行われました。理論や実技の1年間の成果として、公認インストラクターに認定されます。春、地域での活躍を期待します。

## で見える「さやま」

人口と世帯(市民課)	3月1日現在(内は前月比)	
住民基本台帳人口	外国人登録人口	
男 79,860人(-13人)	894人(-6人)	
女 77,445人(-94人)	1,156人(-11人)	
合計 157,305人(-107人)	2,050人(-17人)	
世帯 62,671世帯(-6世帯)	1,492世帯(-11世帯)	

2月の火災・救急件数(消防本部)  
火災件数 5件(建物3件、その他2件)  
救急出動件数 479件(搬送人員452人)